

第四回 春曙文庫セミナー

『枕草子』が誘う古典の世界

相愛大学の春曙文庫は、本学教授であり、『枕草子』研究の第一人者であった田中重太郎（1917～1987）の旧蔵書を核とした貴重書のコレクションです。田中は研究のため、『枕草子』の諸本および注釈書、関連する書籍を中心に蒐集しました。

春曙文庫にはほかにも、大学に以前よりあった資料や、元学長の今小路覚瑞、短期大学教授の柿谷雄三の旧蔵書なども収められていますが、その内容は平安文学から近代文学にまで多岐にわたります。このセミナーでは、研究者たちの人的なつながりや、蔵書の興味・関心の有り様によって集められた春曙文庫の貴重書を紹介します。

開催日 2025年（令和 7年）3月 8日（土曜日）
13：30～16：00 ※開場 13：00

場 所 相愛大学 南港学舎 4号館 401教室

司 会 山本和明（国文学研究資料館教授）

ご挨拶 千葉真也（相愛大学教授）

基調講演 中西 健治（元立命館大学文学部教授）

「春曙文庫から学んだこと」

研究報告 ―春曙文庫の名品―

講 師 飯田 実花（大阪大学大学院・博士後期課程）

「春曙文庫の『源氏物語』―聖護院道澄ほか筆『源氏物語』五十三帖・近衛信尹筆「光源氏 由免濃有喜八之」を中心に―」

講 師 阿尾 あすか（相愛大学准教授）

「伝説の清少納言 ―春曙文庫の蔵書から―」

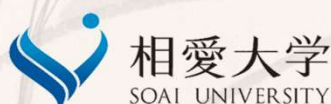
展示観覧・紹介 ※展示室にてギャラリートークを行います

定員50名 受講料 無料

事前申込制 先着順（定員になり次第〆切とします）

※申し込み方法はこのチラシの裏側をご覧ください

主 催



後 援

大阪市住之江区役所



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国文学研究資料館
National Institute of Japanese Literature

国文学研究資料館共同研究

《相愛大学「春曙文庫」に関する研究―書物と人―

第四回 春曙文庫セミナー

2025年（令和7年）3月8日（土曜日）

13：30～16：00

司 会 山本和明（国文学研究資料館教授）
ご挨拶 千葉真也（相愛大学教授）



基調講演 60分

中西健治（元立命館大学文学部教授）
「春曙文庫から学んだこと」

講演者紹介：相愛大学・立命館大学元教授。平安時代後期の物語を中心に研究。『浜松中納言物語の研究』（大学堂書店 1983年）『平安末期物語攷』（勉誠社 1997年）『浜松中納言物語全注釈 上/下』（和泉書院 2005年）等の著書の他、清少納言に仮託された偽書『松嶋日記』についての論文「松嶋日記の研究(本文・校本編)」(「相愛大学研究論集」14-1)がある。田中重太郎の信頼厚かった鈴木弘道を継承して『枕冊子全注釈』を完成させた。

—休憩—

研究報告 各20分

講師 飯田 実花（大阪大学大学院・博士後期課程）

「春曙文庫の『源氏物語』―聖護院道澄ほか筆『源氏物語』五十三帖・近衛信尹筆「光源氏 由免濃有喜八之」を中心に―

講師 阿尾 あすか（相愛大学准教授）

「伝説の清少納言 ―春曙文庫の蔵書から―

展示観覧・紹介 30分

展示室に場所をうつして、資料の解説をいたします

申込方法

①Eメール bunko.seminar@nijl.ac.jp

②Web <https://forms.gle/ebVqMUokia2qSfYV7>

お申し込みは
こちら

上記いずれかの方法でお申し込みください。Eメールの場合、**タイトルを「春曙文庫セミナー 申込」とし、本文に氏名、氏名ヨミ、メールアドレス、電話番号**を記入し送信ください。後日Eメールにて受講票を送付いたします。ご記入いただいた個人情報は、当行事運営のみに使用します。

受付開始 1月17日（金曜日）

締切

2月28日（金曜日）
17：00

